日本でも世界でも「ポストコロナ」論が盛んです。その一つが新自由主義路線の破たんについて。広島県内を見ても明らかです。保健所は21施設あったのが今や７施設に。広島市でも各区単位にあったのが今は１つです。保健師も減らされ、このコロナ禍で今どこでも人手が足りないとパンク状態になっています。広島市の舟入市民病院は1895年に感染症専門の病院として設立されましたが、1986年に感染病床が100床から50床へ、2014年にはさらに16床へと減らされました。さらには自治体そのものも、と広島県は当時86市町村あったのが「平成の大合併」で23市町となりました。

すべて「経済」と「効率」を優先した結果です。いま多くの人たちが「こんな社会のあり方で本当にいいのか」と真剣に考えています。そんな中での検察庁法改正案に国民の怒りが爆発しました。「#抗議します」に続くツイッターでの新たな合言葉は「#さよなら安倍政権」。社会と政治のあり方を根本から問う激動の６月です。